



1 元気よく神輿を担ぐ子どもたち 2 会場を笑顔にしたよさこい演舞 3 アンコールでタロルが飛び交ったライブ会場

企画が盛りだくさんに開催

第46回よっぺ祭り

市民の手作り・市民参加の祭りとして親しまれる「第46回よっぺ祭り」が10月20日、本町通り商店街を中心に開催され、多くの人が訪れました。

市内の各小学校自慢の「手作りたるみこし」と囃子のパレードから始まったイベントは、園児たちによるよさこい演舞やパラバルーンの発表、匝瑳市PRソングのお披露目、歌や踊りなどステージショーが目白押し。商店街周辺には、展示や軽食・物品販売、スポーツ体験などの企画ブースが出展し、市民ふれあいセンターでは、アマチュアバンドによるライブ「よっぺミュージックフェスタ」も開催され1日を通して大きな盛り上がりを見せました。

「体操や交流で地域の盛り上げに」

第1回野栄地区百歳体操祭りが開催

高齢者向け筋力アップ体操「いきいき百歳体操」の普及と取り組み団体同士の交流を図る「第1回野栄地区百歳体操祭り」が10月30日、のさかアリーナで開催されました。

主催した同地区社会福祉協議会・大木公正会長は「体操や交流を通じて、高齢者が明るく元気になって地域を盛り上げましょう」とあいさつし、参加した20団体121人全員でトレーナーによる解説に沿った体操を実施。在宅医療に関する劇の鑑賞やボーリングなどのゲーム大会も行われ、会場内にはぎやかな雰囲気に包まれていました。



普通の体操をアレンジした動きにも挑戦する参加者たち

「最後まで諦めずに取り組みたい」

八二中・山本さんが少林寺拳法の全国大会出場

八日市場第二中学校1年・山本楓さん（上谷中）が、「2024年少林寺拳法全国大会inふじのくに」の組演武・中学生女子の部に出場しました。

組演武は2人1組となって突きや蹴りなどの攻防を審査する種目。山本さんは、6月30日に開催された「2024年少林寺拳法千葉県大会」の組演武・中学生女子の部で2位に入賞。全国大会への出場権を手に入れました。

11月5日に宮内市長を表敬訪問した山本さんは、「全国大会では本選出場を目指し、多くの練習をして最後まで諦めずに取り組みたい」と大会に向けた意気込みを語りました。

※大会は11月16日・17日に静岡県で開催されました。



宮内市長を表敬訪問した山本さん（左）

八二中・西山さんが全国大会連覇

U16都道府県代表4×100mリレー



4×100mリレーの全国大会で優勝した西山さん

八日市場第二中学校3年・西山凜星さん（横須賀）が、10月5日・6日に東京都で開催された「みんなであつなごうリレーフェスティバル2024」のU16都道府県代表女子4×100mリレーに出場し、昨年に引き続き優勝しました。

西山さんは千葉県代表チームに選抜され、本大会には第3走として出場。決勝では、46秒48の大会新記録を樹立し、2連覇を飾りました。

11月5日に宮内市長を表敬訪問した西山さんは、「チーム内で積極的にコミュニケーションを取ったことが優勝につながり、うれしい。高校進学後も全国大会でメダルが取れるように頑張りたい」と話しました。



農業者と市民の交流の祭典

第19回そうさ農業まつりが開催

農業者と市民の交流の祭典「第19回そうさ農業まつり」が11月10日、市役所南側駐車場を会場に開催されました。

40を超えるテントが立ち並んだ会場では、新鮮な野菜や色鮮やかな花植木、手作り加工品などの販売の他、チャリティー配布などが行われ、地元産品を買い求める人で行列ができていました。特設ステージでは、丸太切り競争を皮切りにスコップ三味線やのさか太鼓の演奏、よさこい演舞、植木オークションなど多彩なステージ企画を実施。ファイナーは5年ぶりに、景品が当たる「くじ付き紅白もち投げ」で締めくくられ、ステージやトラックから餅が投げ入れられるたびに、参加者からは歓声が上がっていました。



1



2



3

1 6団体が出場した恒例の丸太切り競争 2 もち米3俵分の餅が投げ入れられた、くじ付き紅白もち投げ 3 多くの人々が並んだ野菜の販売ブース

里山を巡ってポイントをさがせ!

市民オリエンテーリング大会

里山などに設置されたチェックポイントを巡り、ゴールするまでの時間を競う「市民オリエンテーリング大会」が11月3日、天神山公園を中心とするコースで行われました。

当日は小学生や家族連れを中心に、21組74人がエントリー。地図とコンパスを持って八日市場公民館をスタートした参加者は、ポイントを書き写した地図と周囲の景色を頼りに里山を散策。木々に隠れたチェックポイントを探しながら、ゴールを目指しました。



コースに設置されたポイントを回る参加者

「粒すけ」500kgを寄贈



ちばみどり農協から学校給食用米として「粒すけ」の新米500kgが寄贈されました。10月15日に贈呈式が行われ、江波戸一治代表理事組合長から宮内市長へ目録などが手渡されました(=写真)。寄贈されたお米は、10月21日・24日に市立幼稚園、小・中学校の給食として提供されました。

私債債を利用し寄付

マルナカ工業株式会社(安久山)と千葉銀行八日市場支店から、同行が取り扱う「ちばぎんSDGs私債債(スポーツ応援型)」を利用し、10万円が寄付されました。10月7日に贈呈式が行われ、太田益生代表取締役社長と湯浅太郎千葉銀行八日市場支店長から宮内市長に目録が手渡されました(=写真、左から湯浅千葉銀行八日市場支店長、太田代表取締役社長)。



包括連携協定を締結



市と千葉商科大学は10月1日、地域社会の課題解決および大学の教育・研究機能向上を図ることを目的に包括連携協定を締結しました(=写真、右は原科幸彦学長)。今後は脱炭素先行地域計画や商店街の活性化に関することなど、さまざまな分野で協働による取り組みを推進していきます。